

## 2 目標達成計画

作成日：平成 24年 12月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		介護度が進んだ利用者同士の会話が難しくなっている。状況により不安や不穏な症状が見られる方もいる	利用者がおなかの底から大声で笑っえるような環境の提供	ゆとりの時間を工夫し自ら話をしない利用者の会話を引き出す。小話や笑い話も取り入れ利用者が思わず笑ってしまえるような工夫をする。	6か月
2		身体機能の低下により外出よりも室内で過ごす事を好むことがある	外気に触れ社会参加することで心の張りを持っていただくような支援。	散歩やドライブ買い物等をする機会を増やし外の空気を吸うことで気分転換を図る。季節感を大切に生きがいを感じらるよう工夫する。好まない方に関しては外気浴をする等気分のリフレッシュを図る。	1か年
3		入居者の身体機能の低下により室内での転倒事故の発生が懸念される	個々の身体機能を見極めながら筋力低下予防体操、歩行運動を充実していく。又2か年計画で居室内の床材の変更を本社代表者と協議を継続していく。	①現在実施中の軽体操や歩行運動の充実。バランス感覚を養うため積極的に外出も増やしていく。 ②バランスのとれた食事の提供、日光浴、個々の身体機能に合わせた体操を継続する。 ③クッションフロアへ床材の変更をする	2か年
4		都市計画により周辺の道路や居住区の変更が継続しており再度近隣住人との協力体制の構築が必要である	近隣住人との良好な関係の構築と協力体制の強化を図る	①近隣住人への挨拶と説明を行い理解と協力を得る。②町内会活動への積極的な参加。③園の行事へ招待。④地域運営推進会議への参加要請	2か年
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。